

農林水産省の温室効果ガス排出削減計画

平成18年3月

農 林 水 産 省

目 次

I. 農林水産省施設別温室効果ガス排出量目標

1. 農林水産省施設別温室効果ガス排出量目標	1
2. 個別組織・施設の表	
・ 本省	2
・ 地方農政局等	3
・ 森林管理局	4
・ 農林水産技術会議筑波事務所	5
・ 農林水産研修所	6
・ 植物防疫所	7
・ 動物検疫所	8
・ 動物医薬品検査所	9
・ 農林水産政策研究所	10
・ 森林技術総合研修所	11
・ 漁業調整事務所	12
・ 水産庁船舶	13

II. 「農林水産省の温室効果ガス排出削減計画」の推進体制

1. 「農林水産省の温室効果ガス排出削減計画」の推進体制	14
2. 農林水産省の電気・燃料・公用車燃料・船舶燃料使用量 把握の流れ	15
参考 1 農林水産省実施計画（抜粋）	16
参考 2 農林水産省実施計画の推進体制	17

I 1. 農林水産省 施設別 温室効果ガス排出量 目標

(単位:トンCO2)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	対13年比 (%)	平成18年度目標 (tCO2/年)	対平成16年 度比目標 (%)	対13年度 削減比(%)
農林水産省合計	144,159	146,258	146,130	143,693	-0.3	133,459	-7.1	- 7.4
本省	4,447	4,553	5,544	5,454	+ 23	4,909	-10	+ 10
地方農政局等	35,472	36,132	35,115	32,910	- 7	28,961	-12	- 18
地方農政局	21,621	22,127	31,388	31,163				
東北農政局	3,268	3,404	4,676	4,617				
関東農政局	4,545	4,304	7,727	7,607				
北陸農政局	2,145	2,349	2,730	2,784				
東海農政局	1,365	1,311	2,516	2,114				
近畿農政局	3,568	3,770	4,074	4,182				
中国四国農政局	3,280	3,256	4,569	4,802				
九州農政局	3,450	3,733	5,096	5,057				
北海道農政事務所			554	657				
北海道統計・情報事務所	1,083	1,081	1,120	1,090				
食糧事務所	12,768	12,924	2,053					
森林管理局	22,742	21,268	19,055	15,475	- 32	13,618		- 40
北海道森林管理局	7,350	6,532	5,727	4,757				
東北森林管理局	5,597	5,287	5,599	2,541				
関東森林管理局	2,877	2,782	1,815	2,573				
中部森林管理局	2,517	2,445	1,840	1,649				
近畿中国森林管理局	1,275	1,236	1,162	1,019				
四国森林管理局	1,135	1,072	900	889				
九州森林管理局	1,990	1,914	2,012	2,047				
農林水産技術会議 筑波事務所	4,415	3,762	3,789	4,086	- 7	3,882	- 5	- 12
農林水産研修所	812	771	499	516	- 36	490		- 40
植物防疫所	2,981	3,086	3,064	3,536	+ 19	3,359		+ 13
横浜植物防疫所	1,300	1,494	1,412	1,863				
名古屋植物防疫所	234	261	239	324				
神戸植物防疫所	966	902	885	835				
門司植物防疫所	329	283	386	370				
那覇植物防疫所	152	146	142	144				
動物検疫所	1,955	1,919	2,161	2,598	+ 33	2,468		+ 26
本所	356	396	—	492				
成田支所(羽田出張所含む)	857	827	—	656				
名古屋支所	84	0	—	122				
関西空港支所	292	315	—	938				
神戸支所	116	108	—	105				
門司支所	205	226	—	234				
沖縄支所	46	48	—	50				
動物医薬品検査所	1,073	1,314	1,283	1,350	+ 26	1,283		+ 20
農林水産政策研究所	183	198	182	180	- 2	171		- 7
森林技術総合研修所	219	222	245	227	+ 4	216		- 2
漁業調整事務所	192	186	173	162	- 16	154		- 20
北海道漁業調整事務所	33	29	26	29				
仙台漁業調整事務所	22	23	21	22				
新潟漁業調整事務所	12	12	11	17				
境港漁業調整事務所	17	19	18	21				
瀬戸内漁業調整事務所	41	41	35	35				
九州漁業調整事務所	68	63	61	39				
水産庁船舶	69,667	72,837	75,019	77,199	+ 11	73,949	-4.2	+ 6

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。
北海道統計・情報事務所は、平成18年度より北海道農政事務所と統合。

I 2.【個別組織・施設の表】 農林水産省(本省)

(単位: kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	257,716	261,230	(101%)	231,782	(90%)	225,209	(87%)		
施設のエネルギー使用	4,188,829	4,292,181	(102%)	5,312,617	(127%)	5,228,913	(125%)		
電気	3,879,792	3,992,738	(103%)	5,005,212	(129%)	4,945,429	(127%)		
電気以外	309,037	299,442	(97%)	307,405	(99%)	283,485	(92%)		
(電気使用量: kwh)	10,264,000	10,562,800	(103%)	10,320,024	(101%)	10,196,760	(99%)		
(床面積: m2)	74,860	74,860	(100%)	74,860	(100%)	74,860	(100%)		
その他	0	0	—	0	—	0	—		
合 計	4,446,545	4,553,411	(102%)	5,544,399	(125%)	5,454,122	(123%)	4,909,000	(110%)
電力の排出係数	0.378	0.378		0.485		0.485		0.485	

○今後の対策(ハード関係)

- (1)環境管理システム(ISO14001)の実施による電気、燃料等の使用状況の監視・測定と、CO2排出削減取組の推進
- (2)冷暖房の運転時間の見直し
- (3)蛍光灯インバーター化による省電力
- (4)PC関係(省電力型パソコンへの更新、省エネタイプライツ器具へ交換)

・平成16年からの必要な削減量

545 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 地方農政局等

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	8,724,517	8,624,802	(99%)	8,974,842	(103%)	8,870,516	(102%)		
施設のエネルギー使用	26,702,702	26,829,262	(100%)	25,672,788	(96%)	23,508,183	(88%)		
電気	17,720,652	17,895,645	(101%)	16,426,789	(93%)	15,633,316	(88%)		
電気以外	8,982,049	8,933,617	(99%)	9,245,999	(103%)	7,513,164	(84%)		
(電気使用量: kwh)	46,366,392	47,235,645	(102%)	43,012,141	(93%)	41,966,836	(91%)		
(床面積: m2)	642,050	631,620	(98%)	583,111	(91%)	591,720	(92%)		
その他	44,927	678,773	(1511%)	466,624	(1039%)	531,263	(1183%)		
合 計	35,472,144	36,132,836	(102%)	35,114,254	(99%)	32,909,962	(93%)	28,961,000	(82%)

○今後の対策

- (1)PC関係(省電力型パソコンへの更新、省エネタイプスイッチ器具へ交換)
- (2)蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)
- (3)人感センサー付照明設備の導入
- (4)冷温水機の更新
- (5)サッシの日射遮蔽用フィルムの貼付

・平成16年からの必要な削減量

3,949 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 森林管理局

(単位: kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	8,895,406	8,295,767	(93%)	7,744,531	(87%)	7,046,258	(79%)		
施設のエネルギー使用	12,146,594	11,367,361	(94%)	10,107,989	(83%)	7,534,411	(62%)		
電気	5,605,915	5,375,200	(96%)	4,691,272	(84%)	4,306,170	(77%)		
電気以外	6,540,679	5,992,161	(92%)	5,416,717	(83%)	3,228,241	(49%)		
(電気使用量: kwh)	14,828,294	14,218,046	(96%)	12,383,318	(84%)	11,327,779	(76%)		
(床面積: m2)	569,518	569,518	(100%)	540,138	(95%)	467,156	(82%)		
その他	1,699,501	1,604,755	(94%)	1,202,433	(71%)	894,567	(53%)		
合 計	22,741,501	21,267,883	(94%)	19,054,953	(84%)	15,475,236	(68%)	13,618,000	(60%)

○今後の対策

- (1) 蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)
- (2) PC関係(省電力型パソコンへの更新、省エネタイプスイッチ器具へ交換)

・平成16年からの必要な削減量

1,857 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 農林水産技術会議 筑波事務所

(単位: kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	14,768	16,589	(112%)	15,869	(107%)	15,197	(103%)		
施設のエネルギー使用	4,400,320	3,745,341	(85%)	3,773,283	(86%)	4,070,362	(93%)		
電気	2,651,469	2,579,217	(97%)	2,878,661	(109%)	3,018,496	(114%)		
電気以外	1,748,851	1,166,124	(67%)	894,622	(51%)	1,051,867	(60%)		
(電気使用量: kwh)	7,014,469	6,823,325	(97%)	7,615,505	(109%)	7,985,438	(114%)		
(床面積: m2)	43,340	45,261	(104%)	45,746	(106%)	45,746	(106%)		
その他	0	0	—	0	—	0	—		
合 計	4,415,088	3,761,930	(85%)	3,789,152	(86%)	4,085,560	(93%)	3,882,000	(88%)

○今後の対策

- (1)蛍光灯インバーター化による省電力(△30%削減)
- (2)公用車へのアイドリングストップ装置の導入 (△5～10%削減)
- (3)エコマイザー(熱交換器)の設置(△2%削減)

・平成16年からの必要な削減量

204 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 農林水産研修所

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	(13年度比)
公用車燃料	7,699	8,459	(110%)	5,694	(74%)	5,632	(73%)		
施設のエネルギー使用	557,116	549,132	(99%)	472,250	(85%)	487,724	(88%)		
電気	268,555	307,314	(114%)	241,339	(90%)	243,113	(91%)		
電気以外	288,561	241,818	(84%)	230,911	(80%)	244,611	(85%)		
(電気使用量: kwh)	710,463	813,000	(114%)	638,462	(90%)	643,157	(91%)		
(床面積: m2)	15,657	26,756	(171%)	23,130	(148%)	25,110	(160%)		
その他	247,785	213,642	(86%)	20,735	(8%)	22,368	(9%)		
合 計	812,600	771,233	(95%)	498,679	(61%)	515,724	(63%)	490,000	(60%)

○今後の対策

- (1)蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)
- (2)人感センサー付照明設備の導入
- (3)公用車へのアイドリングストップ装置の導入 (△5～10%削減)
- (4)液晶テレビへの更新

・平成16年からの必要な削減量

26 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 植物防疫所

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	74,550	76,087	(102%)	79,525	(107%)	98,146	(132%)		
施設のエネルギー使用	2,902,706	3,008,344	(104%)	2,983,025	(103%)	3,420,545	(118%)		
電気	1,905,717	1,937,436	(102%)	2,053,690	(108%)	2,139,740	(112%)		
電気以外	996,989	1,070,908	(107%)	929,335	(93%)	1,280,805	(128%)		
(電気使用量: kwh)	4,793,560	5,125,493	(107%)	5,429,568	(113%)	5,642,527	(118%)		
(床面積: m2)	40,059	40,167	(100%)	38,129	(95%)	37,574	(94%)		
その他	3,641	1,802	(49%)	1,708	(47%)	17,407	(478%)		
合 計	2,980,897	3,086,233	(104%)	3,064,257	(103%)	3,536,099	(119%)	3,359,000	(113%)

○今後の対策

- (1)蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)
- (2)PC関係(省電力型パソコンへの更新、省エネタイプスイッチ器具へ交換)
- (3)反射板照明による省電力(△30%削減)

・平成16年からの必要な削減量

177 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 動物検疫所

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	(13年度比)
公用車燃料	17,850	16,772	(94%)	19,478	(109%)	25,252	(141%)		
施設のエネルギー使用	1,937,150	1,902,590	(98%)	2,141,817	(111%)	2,572,364	(133%)		
電気	1,376,169	1,337,871	(97%)	1,554,381	(113%)	1,507,972	(110%)		
電気以外	560,980	564,720	(101%)	587,436	(105%)	1,064,392	(190%)		
(電気使用量: kwh)	3,640,660	3,539,340	(97%)	4,112,119	(113%)	3,943,891	(108%)		
(床面積: m2)	37,069	34,909	(94%)	37,709	(102%)	39,865	(108%)		
その他	0	0	—	0	—	0	—		
合 計	1,954,999	1,919,362	(98%)	2,161,295	(111%)	2,597,616	(133%)	2,468,000	(126%)

○今後の対策

- (1)蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)
- (2)低公害車の導入
- (3)反射板照明による省電力(△30%削減)

・平成16年からの必要な削減量

130 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 動物医薬品検査所

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	1,660	725	(44%)	1,006	(61%)	713	(43%)		
施設のエネルギー使用	1,071,752	1,312,798	(122%)	1,282,320	(120%)	1,349,701	(126%)		
電気	965,941	1,120,338	(116%)	1,085,302	(112%)	1,165,126	(121%)		
電気以外	105,810	192,461	(182%)	197,018	(186%)	184,575	(174%)		
(電気使用量: kwh)	2,555,400	2,963,856	(116%)	2,871,168	(112%)	3,082,344	(121%)		
(床面積: m2)	8,135	8,135	(100%)	8,135	(100%)	8,135	(100%)		
その他	0	0	—	0	—	0	—		
合 計	1,073,411	1,313,524	(122%)	1,283,326	(120%)	1,350,414	(126%)	1,283,000	(120%)

○今後の対策

- (1)蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)
- (2)人感センサー付照明設備の導入

・平成16年からの必要な削減量

67 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 農林水産政策研究所

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
						(13年度比)	(13年度比)
公用車燃料	980	954	1,136	867	(97%)	(88%)	
施設のエネルギー使用	181,787	196,852	180,885	179,596	(108%)	(99%)	
電気	126,482	136,348	127,188	126,136	(108%)	(100%)	
電気以外	55,305	60,505	53,697	53,460	(109%)	(97%)	
(電気使用量: kwh)	334,608	360,708	336,475	333,693	(108%)	(100%)	
(床面積: m2)	5,866	5,866	5,866	5,866	(100%)	(100%)	
その他	0	0	72	0	—	—	
合 計	182,767	197,806	182,092	180,463	(108%)	(99%)	(94%)

○今後の対策

(1)人感センサー付照明設備の導入

・平成16年からの必要な削減量

9 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 森林技術総合研修所

(単位: kg-CO₂/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	10,804	12,228	(113%)	10,742	(99%)	16,504	(153%)		
施設のエネルギー使用	208,278	209,808	(101%)	234,228	(112%)	210,382	(101%)		
電気	128,004	128,396	(100%)	128,801	(101%)	127,719	(100%)		
電気以外	80,274	81,412	(101%)	105,427	(131%)	82,662	(103%)		
(電気使用量: kwh)	338,634	339,672	(100%)	340,744	(101%)	337,882	(100%)		
(床面積: m ²)	7,648	7,648	(100%)	7,615	(100%)	7,615	(100%)		
その他	0	0	—	0	—	0	—		
合 計	219,082	222,036	(101%)	244,971	(112%)	226,886	(104%)	216,000	(99%)

○今後の対策

(1)蛍光灯インバーター化による省電力(△24%削減)

・平成16年からの必要な削減量

11 トンCO₂

【個別組織・施設の表】 農林水産省 漁業調整事務所

(単位:kg-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標	
									(13年度比)
公用車燃料	3,577	5,666	(158%)	5,987	(167%)	6,179	(173%)		
施設のエネルギー使用	188,733	180,250	(96%)	166,881	(88%)	156,141	(83%)		
電気	113,397	110,082	(97%)	108,904	(96%)	106,776	(94%)		
電気以外	75,336	70,168	(93%)	57,977	(77%)	49,365	(66%)		
(電気使用量: kwh)	298,532	290,130	(97%)	286,880	(96%)	281,402	(94%)		
(床面積: m2)	2,420	2,420	(100%)	2,420	(100%)	2,083	(86%)		
その他	0	0	—	0	—	0	—		
合 計	192,310	185,916	(97%)	172,868	(90%)	162,320	(84%)	154,000	(80%)

○今後の対策

(1)タスク照明の導入

・平成16年からの必要な削減量

8 トンCO2

【個別組織・施設の表】 農林水産省 水産庁船舶

(単位:トン-CO2/年)

	平成13年度	平成14年度	(13年度比)	平成15年度	(13年度比)	平成16年度	(13年度比)	平成18年度目標
								(13年度比)
公用車燃料	0	0	—	0	—	0	—	
施設のエネルギー使用	0	0	—	0	—	0	—	
電気	0	0	—	0	—	0	—	
電気以外	0	0	—	0	—	0	—	
(電気使用量:kwh)	0	0	—	0	—	0	—	
(床面積:m2)	0	0	—	0	—	0	—	
その他	69,667	72,837	(105%)	75,019	(108%)	77,199	(111%)	
合 計	69,667	72,837	(105%)	75,019	(108%)	77,199	(111%)	73,949 (106%)

○今後の対策

(1) 経済速度での巡航の徹底

- 平成16年からの必要な削減量

3,250 トンCO2

Ⅱ 1. 「農林水産省の温室効果ガス排出削減計画」の推進体制

1 「削減計画」の推進体制

「農林水産省実施計画推進本部」において、「削減計画」の進捗状況把握、目標達成のための方法実施等により「削減計画」の推進を行う。

2 「農林水産省実施計画推進本部」の役割

(1) 全体統括

本部長：官房長

(2) 農林水産省全体の燃料等使用量の把握、周知・注意喚起等

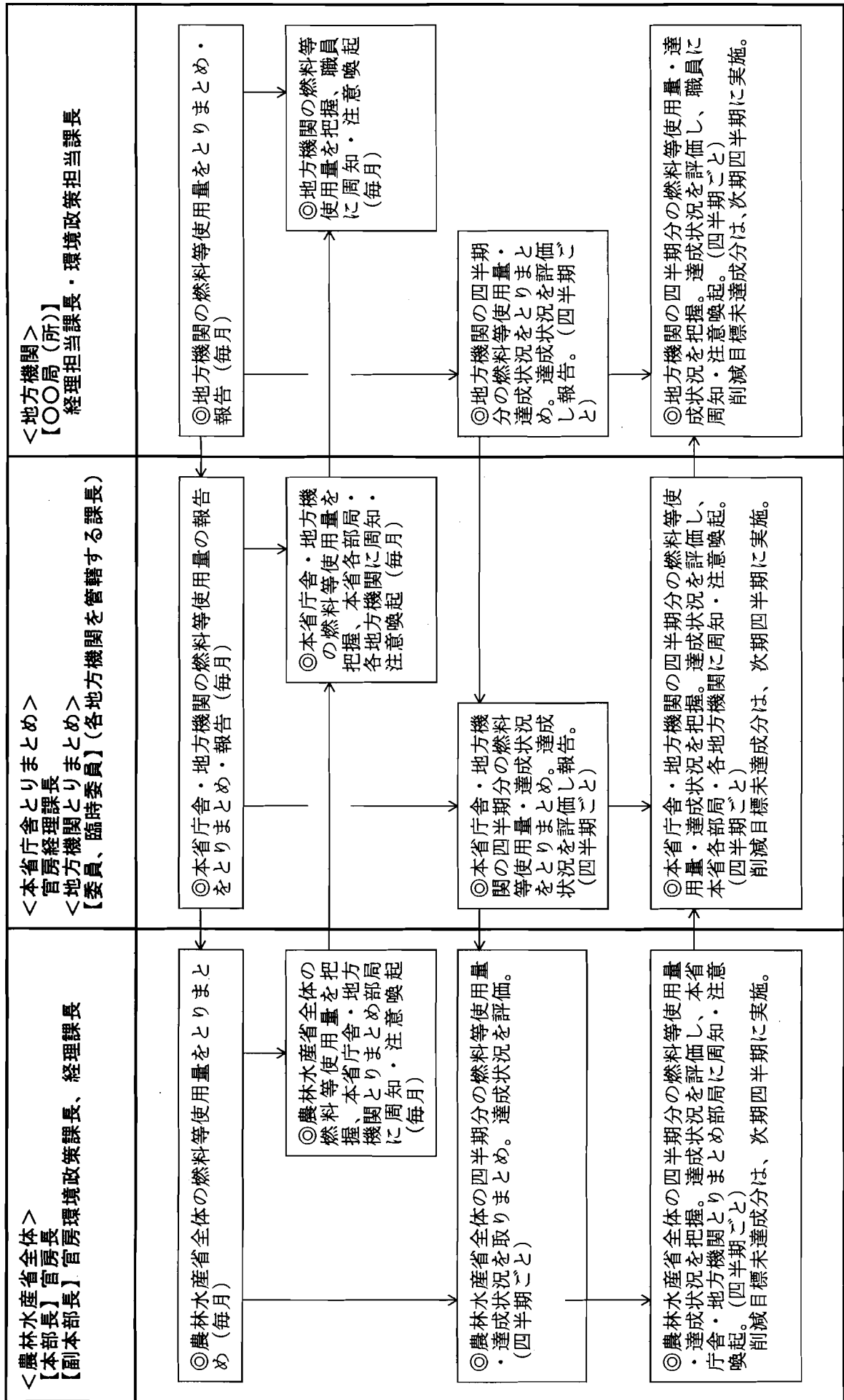
副本部長：環境政策課長、経理課長

(3) 本省庁舎・地方機関の燃料等使用量の把握、周知・注意喚起等

以下の組織・施設について、委員のほか必要に応じ臨時の委員により、それぞれ対応。

- ①本省庁舎：官房経理課長
- ②農林水産政策研究所：官房企画評価課長
- ③農林水産研修所：官房秘書課長
- ④地方農政局：官房地方課長
- ⑤北海道統計・情報事務所：統計情報部管理課長
- ⑥北海道農政事務所：総合食料局総務課長
- ⑦植物防疫所、動物検疫所、動物医薬品検査所：消費・安全局総務課長
- ⑧筑波事務所：技術会議事務局総務課長
- ⑨森林管理局、森林技術総合研修所：林野庁林政課長
- ⑩漁業調整事務所、水産庁船舶：水産庁漁政課長

II 2. 農林水産省の電気・燃料・公用車燃料・船舶燃料使用量把握の流れ



「農林水産省実施計画」(抜粋)

10 農林水産省の実施計画の推進体制の整備と実施状況の評価・点検

農林水産省の実施計画の推進のため、農林水産省実施計画推進本部(以下「推進本部」という。)を設け、その運営について次のように定める。

(1) 推進本部の体制

ア 本部長は、大臣官房長をもって充てる。

イ 副本部長は、大臣官房環境政策課長、大臣官房経理課長をもって充てる。

ウ 委員は、次に掲げるものをもって充てるほか、本部長は、臨時に委員を指名することができる。

- ① 大臣官房総務課長
- ② 大臣官房企画評価課長
- ③ 大臣官房秘書課長
- ④ 大臣官房文書課長
- ⑤ 大臣官房予算課長
- ⑥ 大臣官房厚生課長
- ⑦ 大臣官房地方課長
- ⑧ 大臣官房情報課長
- ⑨ 国際部国際政策課長
- ⑩ 協同組合検査部調整課長
- ⑪ 統計部管理課長
- ⑫ 総合食料局総務課長
- ⑬ 消費・安全局総務課長
- ⑭ 生産局総務課長
- ⑮ 経営局総務課長
- ⑯ 農村振興局総務課長
- ⑰ 技術会議総務課長
- ⑱ 林野庁林政部林政課長
- ⑲ 水産庁漁政部漁政課長

(2) 推進本部の業務

推進本部は、次に掲げる業務を行う。

ア 実施計画の改定案の作成に関すること。

イ 実施計画の推進に関すること。

ウ 実施計画の評価・点検及びその公表に関すること。

(3) 推進本部の庶務

推進本部の庶務は、大臣官房環境政策課において処理する。

農林水産省実施計画の推進体制

(参考 2)

農林水産省における地球温暖化対策等に関する取組

